

# 地球温暖化対策実施状況報告書

2019年 7月 25日

（報告先）  
横浜市長

住所 神奈川県横浜市金沢区八景島

氏名 株式会社横浜八景島  
代表取締役社長 竹口 豊

（法人の場合は、名称及び代表者の氏名）

横浜市生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第144条第2項の規定により、次のとおり報告します。

## 1 地球温暖化対策事業者等の概要

事業者の氏名又は名称 （代表者の氏名）	株式会社横浜八景島 代表取締役社長 竹口 豊				
事業者の主たる 事業所の所在地	神奈川県横浜市金沢区八景島				
主たる事業の業種	大分類	N 生活関連サービス業、娯楽業			
	中分類	80 娯楽業			
該当する 事業者の要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例施行規則（以下「規則」という。）第89条第1項第1号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第2号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	規則第89条第1項第3号該当事業者			
	<input type="checkbox"/>	地球温暖化対策事業者以外の事業者（任意提出事業者）			
	原油換算エネルギー使用量	5,929	kl	自動車の台数	台

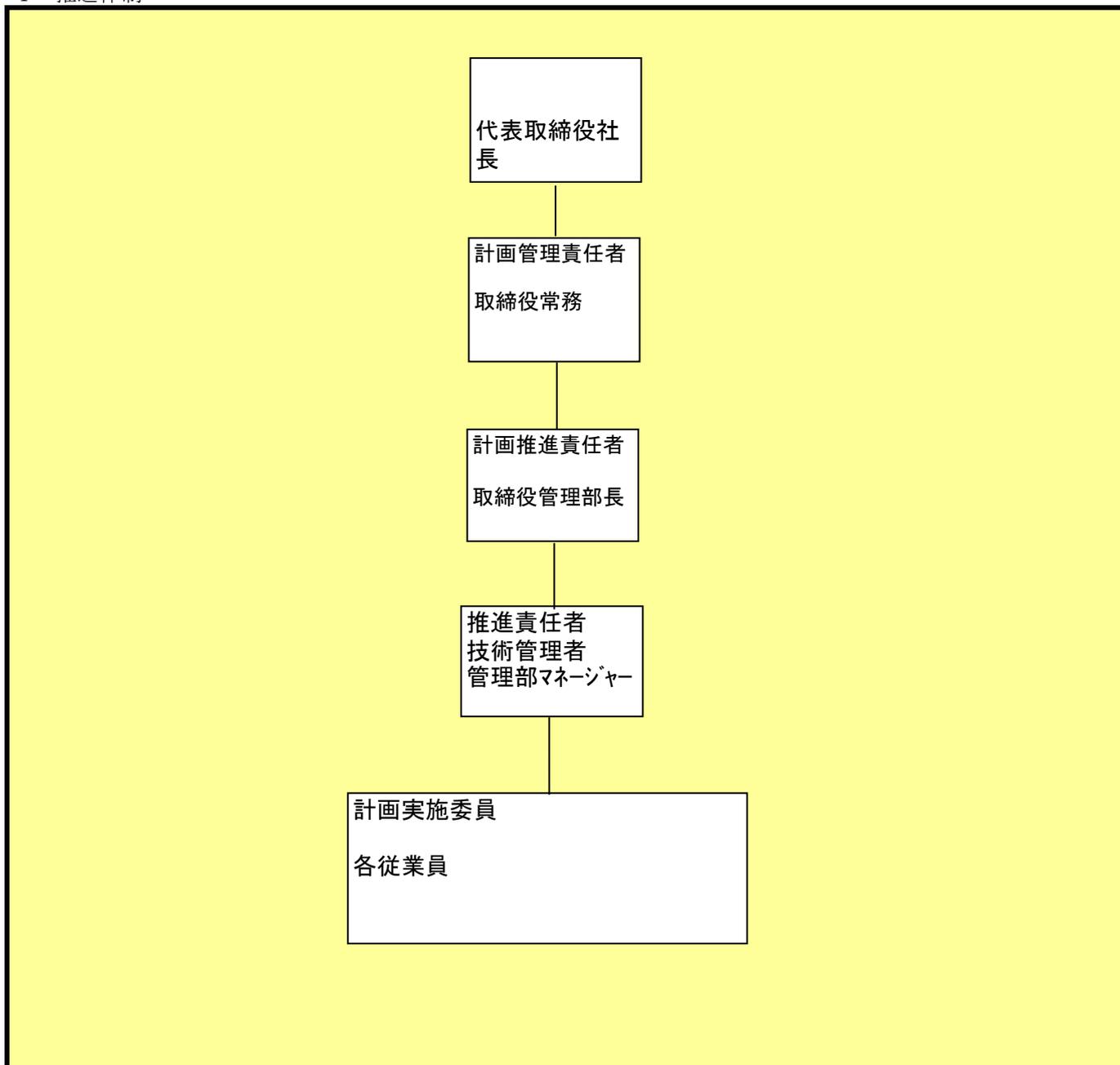
## 2 計画期間及び実施年度

計画期間	2016年度	～	2018年度	実施年度	2018年度
------	--------	---	--------	------	--------

## 3 温室効果ガスの排出の抑制等を図るための基本方針

<p>〔基本方針〕 株式会社横浜八景島では、地球温暖化問題の解決に向け、オフィスにおける省エネルギーの推進および各施設運用時のエネルギー使用効率化により平成30年度までに、平成28年度排出量の3%削減を目指す。 また、経年劣化で老朽化した空調設備等を順次、高効率なトップランナー機器に更新することによる省エネルギー化とコストの削減を図る。</p> <p>①更新の対象となる主要なエネルギー使用設備 ベイマーケットにおける空調設備</p> <p>②上記①の設備を選択した理由 空調設備の老朽化に伴い故障件数増および部品供給停止による修理不可の可能性があるため</p> <p>③設備更新スケジュール 平成30年度までに順次更新予定</p>
---

4 推進体制



5 公表の方法等

ホームページ	アドレス	
窓口で閲覧	閲覧場所	管理センターおよびインフォメーションブース
	所在地	神奈川県横浜市金沢区八景島
	閲覧可能時間	10:00～18:00
冊子	冊子名	
	入手方法	
その他		

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の1 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第1号及び第2号該当事業者）

基準年度 (2015年度)	基準排出量	12,730	t-CO <sub>2</sub>			基準原単位	0.30	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
	調整後	12,519	t-CO <sub>2</sub>			目標原単位	0.29	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
目標年度 (2018年度)	目標排出量	12,350	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.0 %	削減率	3.3 %		
排出の抑制に係る 目標の設定の考え方	平成30年度までの設備機器更新に伴い各種トップランナー機器を選定する事により温室効果ガスの抑制を図る。								
事業者全体としての 目標等	該当なし								
第一年度 (2016年度)	排出量	12,452	t-CO <sub>2</sub>	削減率	2.2 %	排出原単位	0.29	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
	調整後	12,132	t-CO <sub>2</sub>	削減率	3.1 %		削減率	3.3 %	
目標等の達成状況 及び説明	平成28年度については、カーニバルハウスおよびセンターハウス空調設備機器の更新を行ない、今後発生する温室効果ガスの抑制を図った。								
第二年度 (2017年度)	排出量	12,154	t-CO <sub>2</sub>	削減率	4.5 %	排出原単位	0.29	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
	調整後	11,460	t-CO <sub>2</sub>	削減率	8.5 %		削減率	3.3 %	
目標等の達成状況 及び説明	平成29年度については、平成30年度実施予定のベイマーケット空調設備機器更新等の検討を行ない、今後発生する温室効果ガスの抑制を図ることを検討した。								
第三年度 (2018年度)	排出量	11,819	t-CO <sub>2</sub>	削減率	7.2 %	排出原単位	0.28	t-CO <sub>2</sub> /	千m <sup>2</sup>
	調整後	10,871	t-CO <sub>2</sub>	削減率	13.2 %		削減率	6.7 %	
目標等の達成状況 及び説明	2018年度については、2019年度実施予定のベイマーケット空調設備機器更新等の検討を行ない、今後発生する温室効果ガスの抑制を図ることを検討した。								
計画期間全体の排出 状況に関する説明	株式会社横浜八景島は、横浜・八景島シーパラダイスの運営企業であり水族館(アクアミュージアム)、遊園地(プジャーランド)、商業施設(ベイマーケット)、ホテル、マリーナを構成要素とするレジャー産業であり、非製造業である。このことより、温室効果ガス排出に関する活動としては所有する設備機器等の効率的なオペレーションを行いエネルギー使用の削減を図り、つねに環境に配慮し、お客様に快適なサービスを提供する事を企業理念としています。また、2018年度については、今後予定しているベイマーケット空調設備機器更新等の検討を行ない、今後発生する温室効果ガスの抑制を図ることを検討した。								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

6の2 温室効果ガスの排出の抑制に係る目標等の状況（第3号該当事業者）

基準年度 （年度）	基準排出量		t-CO <sub>2</sub>			基準原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>				t-CO <sub>2</sub> /	
目標年度 （年度）	目標排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	目標原単位	削減率	%
排出の抑制に係る目標の設定の考え方								
事業者全体としての目標等								
第一年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第二年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
第三年度 （年度）	排出量		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%	排出原単位		t-CO <sub>2</sub> /
	調整後		t-CO <sub>2</sub>	削減率	%		削減率	%
目標等の達成状況及び説明								
計画期間全体の排出状況に関する説明								

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

7 事業所等における温室効果ガスの排出状況

事業所等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	事業所等の 数(所)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )						
3,000k l 以上	1	12,730	1	12,452	1	12,154	1	11,819
1,500k l 以上 3,000k l 未満								
500k l 以上 1,500k l 未満								
500k l 未満								
合計	1	12,730	1	12,452	1	12,154	1	11,819

8 自動車における温室効果ガスの排出状況

自動車の区分	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	台数(台)	排出量の 合計(t-CO <sub>2</sub> )						
普通貨物自動車								
小型貨物自動車								
大型バス								
マイクロバス								
乗用自動車								
合計								
低公害かつ低燃費な車の 導入割合(%)		%		%		%		%

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

9の1 重点対策の実施状況（第1号及び第2号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度									
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	設備の種類、実施済設備数/対象設備数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況		
第1号及び第2号該当事業者	1	推進体制の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	2	主要なエネルギー使用設備の更新等の検討	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	3	機器管理台帳の整備	事業者全体(市内分)	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	4	照明設備の運用管理	事業者全体(市内分)	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		設備台帳の作成	実施中	0/1	—	2018年度		設備台帳の作成	実施中	0/1	—	2019年度		設備台帳の作成
	5	エネルギー使用量の把握	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	6	各種図面の整備	個別票対象事業所	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	
	7	外気導入量の適正管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	8	フィルター等の清掃	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	9	ポンプ、ファン及びブロワーの適正な流量管理	個別票対象事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	10	変圧器の需要率管理、効率管理	個別票対象事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		設備台帳の作成	実施中	0/1	—	2018年度		設備台帳の作成	実施中	0/1	—	2019年度		設備台帳の作成
	11	室内温度の適正管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	12	地下駐車場の換気管理	事業所	非該当	非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	
	13	照明設備の高効率化	事業所	実施中	実施中	0/1	—	2018年度		導入スケジュールの作成	実施中	0/1	—	2018年度		導入スケジュールの作成	実施中	0/1	—	2019年度		導入スケジュールの作成
	14	事務所機器の待機電力管理	事業所	実施済	実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度			実施済	1/1	—	年度		
	15	機器性能管理	設備	未実施	実施中	(設備の種類)高効率化 20/21	—	2018年度		COPを算出中	実施中	(設備の種類)高効率化 20/21	—	2018年度		COPを算出中	実施中	(設備の種類)高効率化 20/21	—	2019年度		COPを算出中
	16	冷凍機の冷水出口温度管理	設備	実施済	実施済	(設備の種類)高効率化 21/21	—	年度			実施済	(設備の種類)高効率化 21/21	—	年度			実施済	(設備の種類)高効率化 21/21	—	年度		
	17	燃焼設備の空気比管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	
	18	排出ガス温度の管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	
	19	蒸気配管のバルブ等の保温	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	
	20	工業炉表面の断熱強化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	
	21	コンプレッサの吐出圧の適正化	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	
	22	コンプレッサの吸気管理	設備	非該当	非該当	(設備の種類) /	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし		非該当	/	—	年度	対象設備なし	

9の2 重点対策の実施状況（第3号該当事業者）

重点対策	実施状況の判断を行う単位	基準年度	第一年度					第二年度					第三年度										
			対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況	対策状況	実施済事業所数/対象事業所数	実施済車両台数/対象車両台数	完了予定年度(実施中、未実施の場合)	未実施・非該当の理由	実施状況			
第3号該当事業者	23	推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	24	自動車の適正な使用管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	25	エネルギー使用量等に関するデータの管理	事業者全体(市内分)		—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度			—	/	年度	
	26	エコドライブ推進体制の整備	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	
	27	自動車の適正な維持管理	事業者全体(市内分)		/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度			/	—	年度	

10 目標対策及び事業者の発意による対策の実施状況

- （注意事項） ・ 対策の効果が重複して計上されない様にご注意ください。  
 ・ 燃料・熱・電気等の使用量は、一年間での値に換算して記入してください。  
 ・ 記載欄が不足する場合は、横浜市へご連絡ください。

		削減量合計 事業者総排出量		事業者総排出量 (t-CO2)		CO2排出量合計① (t-CO2)		CO2排出量合計② (t-CO2)		削減量合計 (t-CO2)					
		0.60 %		11,819		311.5		240.9		71					
連番	具体的な対策	事業所名	対策の実施年度 (西暦)	実施前				実施後				削減量 □(t-CO2)	投資金額		
				実施前の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量			CO2排出量 (t-CO2)	実施後の運用状況/設備状況	燃料・熱・電気等の使用量				CO2排出量 (t-CO2)	
					種別	使用量	単位			種別	使用量				単位
1	カーニバルハウス空調機更新	榊横浜八景島	2016	EHP（三菱電機）	昼間買電	429,338	kWh	219.8	EHP（三菱電機）	昼間買電	346,217	kWh	177.3	42.6	千円
2	センターハウス空調機更新	榊横浜八景島	2016	EHP（三菱電機）	昼間買電	179,032	kWh	91.7	EHP（三菱電機）	昼間買電	124,357	kWh	63.7	28.0	千円
															千円
															千円
															千円

細則第38号様式（第2条第49号）  
（総括票）

11 再生可能エネルギー利用設備等の導入状況

番号	設備機器の種類	導入年度	性能等	備考
1		年度		
2		年度		
3		年度		
4		年度		
5		年度		

12 クレジット等に関する取組状況

番号	種類	年度	オフセット対象範囲	特定温室効果ガス換算量	備考
1	電気の使用	2018年度	横浜市内事業所	948	東京電力エナジーパートナー
2		年度			
3		年度			
4		年度			
5		年度			

13 その他の地球温暖化を防止する対策の実施状況

基準年度までの対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の使用並びに公共下水道への排水量の削減に係る対策</li> <li>・手洗い等での蛇口を絞った水使用など、日常的に節水を徹底する。</li> <li>・使用頻度の高い蛇口に水量調整を実施する。</li> <li>・廃棄物の減量・リサイクルボックスの活用など、廃棄物の分別・資源化を徹底する。</li> </ul>
計画期間内に実施する対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道の使用並びに公共下水道への排水量の削減に係る対策</li> <li>・手洗い等での蛇口を絞った水使用など、日常的に節水を徹底する。</li> <li>・使用頻度の高い蛇口に水量調整を実施する。</li> <li>・廃棄物の減量・リサイクルボックスの活用など、廃棄物の分別・資源化を徹底する。</li> </ul>
第一年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の分別・資源化の徹底を行いごみ量の削減を図った。</li> </ul>
第二年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の分別・資源化の徹底を行いごみ量の削減を図った。</li> </ul>
第三年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・廃棄物の分別・資源化の徹底を行いごみ量の削減を図った。</li> </ul>

14 実施状況等に対する自己評価

株式会社横浜八景島は、横浜・八景島シーパラダイスの運営企業であり水族館（アクアミュージアム）、遊園地（ブジャーランド）、商業施設（ベイマーケット）、ホテル、マリーナを構成要素とするレジャー産業であり、非製造業である。このことより、温室効果ガス排出に関する活動としては所有する設備機器等の効率的なオペレーションを行いエネルギー使用の削減を図り、つねに環境に配慮し、お客様に快適なサービスを提供する事を企業理念としています。また、2018年度については、今後予定しているベイマーケット空調設備機器更新等の検討を行ない、今後発生する温室効果ガスの抑制を図ることを検討した。